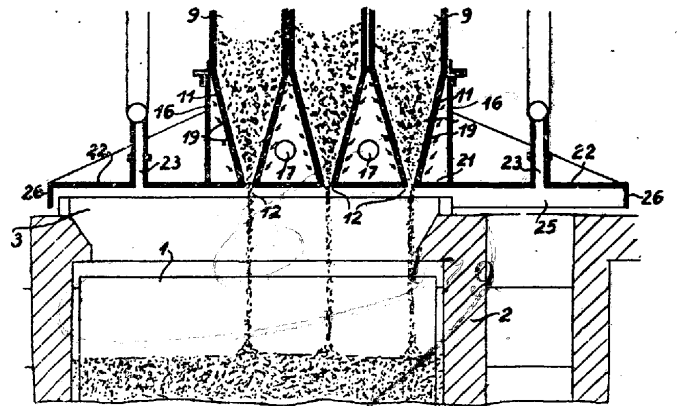


コークス爐の装填装置 (1) 第 3645 號 [昭 17-7-30] (2) 優 (獨) (昭 15-4-22) (3) (4) テオドール・クレツツ, 本發明は圖示する如く細粒炭を壓搾空氣流に依り移動せしめらるゝ噴流として骸炭室に導入し其の際發生する投出作用が全く或は一部分撞固を補償する如き程度に空氣壓力を選定するコークス爐の装填装置に係る。



炭素電極製造法の改良 (1) 第 3700 號 [昭 17-7-30] (2) (昭 16-1-31) (3) (4) 橋豊, 本發明は結合剤の一部をベンゾールに溶解せしめたるものを炭素原料に混合結合せしむる第一工程と殘餘の結合剤を混和して行ふべき捏合及壓搾成形は第一工程にて結合せしめたる一部結合剤が熔融を來さざる溫度に於て操作せしめる第二工程の結合より成る炭素電極製造法に係る。

正 誤 表

石田求, 川口寛之輔; クロム・タングステン・マンガン系ゲージ用不収縮鋼の熱處理, 本誌, 第 28 年, 第 10 號 (昭 17)

1089 頁左欄下から 2 行目及び 1090 頁右欄上から 21 行目のマルテンサイトはオーステナイトの誤り。

池島俊雄; 高溫度に於ける鋼の變形抵抗に関する研究 (第 1 報), 本誌, 第 28 年, 第 11 號 (昭和 17)

頁 行	正	誤
1186 左下より 3 行目	$k_{fm} = \frac{A}{\sqrt{\ln \frac{hb}{ha}}}$	$k_{fm} = \frac{A}{\sqrt{\ln \frac{ha}{hb}}}$
1186 第 2 圖の横軸	爐より試料を取り出してからの時間	なし
1188 第 6 圖の横軸	壓減率(%)	なし
1188 右上より 5 行目	實驗的	實的
1188 右下より 13 行目	M の垂錘の	M の垂錘と
1188 右下より 8 行目	$E_m = MgH(1+k) \times \frac{mM}{(M+m)^2}$	$E_m = MgH(+k) \times \frac{mM}{(M+m)^2}$
1189 第 7 圖の横軸の数値	0.5 1 2 3	0 0.5 1 2 3
1191 右下より 9 行目	1000°C	100°C
1192 (12) 式	$M \frac{d^2x}{dt^2} = Mg - P$	$M \frac{d^2x}{dt^2} = Mg - P$
1193 左下より 1 行目	$\frac{2F_0 db}{M}$	$\frac{2F_0 dg}{M}$
1194 左上より 2 行目	dx/dt と x との	dx/dt と u との
1194 左上より 3 行目	歪速度 u も	歪速度も

寄贈を受けたる圖書

寄贈者	著者	書名	索引番號
辻元謙之助君 燃料報國 滿 20 年記念會	藤波 一 治	辻元謙之助燃料燃 燒論文集	T-42
工業圖書株式會社	吉木 文 平	耐火物工學	Y-8
大阪帝國大學 産業科學研究所	大阪帝國大學 産業科學研究所	研究報告(別刷集)	O-7
戰時生活相談所	戰時生活相談所	標準生計費の研究	S-84
滿洲帝國 地質調査所	滿洲帝國 地質調査所	滿洲帝國地質調査 所彙報第 104 號	M-34
滿洲帝國 地質調査所	滿洲帝國 地質調査所	滿洲帝國地質調査 所要報第 17 號	M-35
探鑛冶金月報社 渡邊先生 還曆祝賀記念會	渡邊 俊 雄	探鑛冶金時評集	W-9
常盤書房	材料研究會	材料文獻集	Z-11
科學工業社	(パウロフ著) 石山 一 郎 譯	高爐の設計	I-14
日本耐火物協會	日本耐火物協會	耐火物年鑑 (3) 昭和 17 年	N-48

野田文庫購入圖書

著者	書名	索引番號
岩 瀨 慶 三	鐵鋼學軌近の進歩 第一卷	I-23
金屬材料研究會	工業材料便覽	K-22
鐵鋼報國會	鐵鋼總覽 昭和 17 年版	T-18
岩 瀨 慶 三	砂鐵の研究	I-24
齋 藤 大 吉	金屬材料及其加工法 炭素鋼篇	S-60
斯 波 之 茂 道 野 鶴 松	金屬材料分析法	S-61
南洋協會	南洋鑛産資源	N-14
(ロベルト・ドウラア著) 鶴瀨達二共譯 徳山 忠臣	製鐵製鋼概論	U-6
田 口 由 三	鋼熔解及び鋼鍛鍊	T-19